

江戸前の地魚・魚介類の販売箇所数・イベント数

東京湾再生官民連携フォーラム 指標活用PT

「江戸前」の魚介類が回復し、「江戸前」の味や文化を享受できる海の達成に向けて江戸前を味わう楽しさや感動の機会、東京湾の漁業生産を取り巻く環境の改善の重要性をアピールするための指標です。

【集計結果】

江戸前の地魚・魚介類の販売箇所数 19箇所
江戸前の地魚・魚介類のイベント数 53件

イベントで多く売られていたのは、鮮魚だと、アジ、サバ、イワシ、タイ、スズキ、アナゴなど。海藻では、ノリ、ヒジキ、ワカメ。イカ、エビ、アサリ、ハマグリ、ホンビノス貝もあったよ！



あさりご飯、穴子丼、焼き海苔、佃煮などの加工品もありますよ！



【回答団体一覧】 (50音順)

- 岩井富浦漁業協同組合
- 牛込漁業協同組合
- 江川漁業協同組合
- 木更津漁業協同組合
- 波左間漁業協同組合
- 富津市下洲漁業協同組合
- 船橋市漁業協同組合
- 横浜市漁業協同組合
- その他1団体



東京湾再生のための行動計画(第二期)とは【快適に水遊びができ、「江戸前」をはじめ多くの生物が生息する、親しみやすく美しい「海」を取り戻し、首都圏にふさわしい「東京湾」を創出する。】ことを目標として、東京湾に関連する関係省庁及び地方自治体からなる東京湾再生推進会議が平成25年5月に策定した計画。計画期間は平成25～34年度(2013～2022年度)までの10年間。

【年度ごとの推移】

